

旧甲子園ホテル(武庫川女子大甲子園会館)見学

旧甲子園ホテル(現武庫川女子大学甲子園会館)は見学者人数が20人に制限されているため、A班(午前)、B班(午後)に分かれての見学になりました。JR 甲子園口から旧甲子園ホテルへ向かう途中で、松山大学温山記念会館の外観を見学しました。

会議室で、甲子園ホテル建設とその後の経緯、遠藤新とフランク・ロイド・ライト、建築物の特徴、武庫川女子大学と建築学部の概要などの説明を受けた後、建物内各部屋、建物外観、庭園を案内していただきました。

旧甲子園ホテルは日本に残る数少ないライト式の建築であり、国の近代化産業遺産および登録有形文化財に登録されています。

フランク・ロイド・ライトの愛弟子・遠藤新の設計により1930年に竣工しました。



正面側建物外観



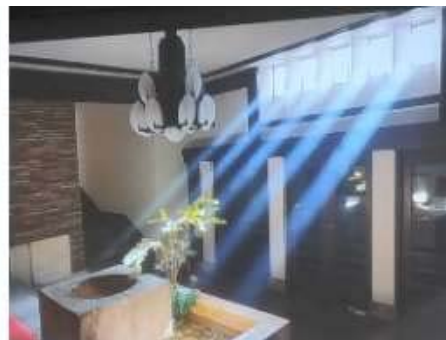
庭園側建物外観



会議室での見学事前説明



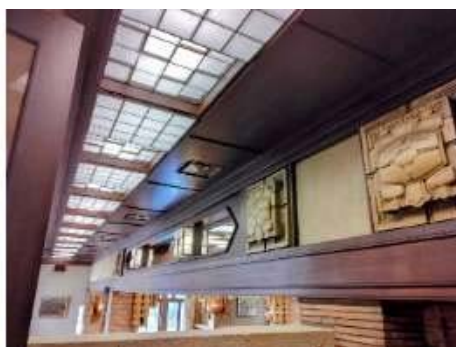
建築学部キャンパスの説明



冬至「欄間窓の光の演出」説明



1階西ホール



市松格子光天井と打出の小槌
オーナメント



カブトガニをモデルとした
とされるオーナメント



回転ドアを備えた玄関



レセプションルーム



東西の客室棟を結ぶ廊下



「打出の小槌」文様の「泉水」



バー床面の泰山タイル



遠藤新設計の椅子(レプリカ)



褐色タイルと浮き彫り状の素焼き



庭園と建物全景



庭園内池の鯉



客室棟の緑彩瓦

(担当: 4班広報)